

特集

災害に強い 安全な国土づくり

～復旧・復興～

【特集の趣旨】

平成23年3月に未曾有の大被害をもたらした東日本大震災をはじめ、平成28年熊本地震、平成30年7月豪雨、令和元年房総半島台風（15号）や東日本台風（19号）などにより大きな被害が発生し、令和2年7月豪雨では特に九州で記録的な大雨となり、令和3年7月の東海地方・関東地方南部を中心とした大雨では、静岡県熱海市で土石流が発生したほか、河川の増水や低地の浸水が発生しました。

災害からの地域の復興には、インフラストラクチャーの早期復旧と復興の活力の源となる拠点・基軸の形成が欠かすことができません。特に近年の大災害からの復興にあたっては、将来的な発展を見据えた創造的復興が注目されています。

このような大規模な災害が発生した際には、国土交通省の緊急災害対策派遣隊（TEC-FORCE）が被災状況の迅速な把握、災害応急対策に対する技術的な支援等をしてきています。また、被災した地方公共団体に他の地方公共団体が職員を派遣するなどの支援が行われてきています。

今号の特集では、「令和4年の自然災害と国土交通省の初動対応」を概説するとともに、地方整備局・地方公共団体等における復旧・復興事業の取組事例、被災地を支援する緊急災害対策派遣隊（TEC-FORCE）の取組事例を紹介します。

特集担当編集委員 外山 喜彦
（国土交通省 水管理・国土保全局 河川計画課
河川情報企画室 企画専門官）



平成23年7月に奈半利川水系大谷川で発生した土砂災害の記憶を将来に語り継ぐため、地元高校生が揮毫した「災害伝承碑」を北川村に設置（本号P19～21「平成23年7月台風第6号により発生した深層崩壊起因の土石流被害への対応」より）



CONTENTS

令和4年の自然災害と国土交通省の初動対応	8
直轄権限代行国道144号鳴岩橋 <small>なりいわし</small> （群馬県 <small>つまごい</small> 嬭恋村）の災害復旧	13
平成30年7月豪雨 国道187号道路災害復旧	16
平成23年7月台風第6号により発生した深層崩壊起因の土石流被害への対応	19
平成30年7月豪雨災害における災害公営住宅整備	22
海・船の視点から見た港湾強靱化	25
令和4年発生災害と水産庁の取組	28
令和4年8月の大雨におけるTEC-FORCE活動	31
災害対策用ヘリコプター「おりづる」の導入	34